



藤岡さん④から太鼓の叩き方を教わる児童たち

小屋瀬小で伝承活動 さんさ太鼓を学ぶ会

3月4日、小屋瀬小学校で小屋瀬さんさ太鼓を学ぶ会が行われ、3、4年生7人が参加しました。
この学習は地域の魅力を発見することを目的に開催。講師の藤岡慶司さん（小屋瀬さんさ踊り保存会会長）は小屋瀬さんさ踊りの歴史や成り立ちを説明しました。太鼓の指導では藤岡さんが急がずにしっかり叩くことをアドバイス。児童は藤岡さんを手本に懸命に練習していました。南館玄さん（4年）は「足の動きがそろよう頑張りたい」と目標を話していました。

楽しく備えを学ぶ 江刈小で防災集会

3月12日、江刈小学校で防災集会が行われ、児童24人が東日本大震災や災害時の対応について学びました。
児童は災害時を想定したワークショップで「衣・食・住」の確保のため、非常食の調理や段ボールで生活スペースを作る体験を行いました。また、元陸上自衛官の天摩和彦さん（山岸）が自身の防災バッグの中身を紹介し、非常時に備えておく良い物を解説しました。天摩さんは「楽しく覚えて、災害時には今日のことを生かしてほしい」と、児童へ呼び掛けました。



段ボールで作った生活スペースで非常食を試食する児童

伝統の食文化を体験 凍みじゃがいももち

凍みじゃがいも粉の作り方伝承会は3月14日、くずま〜る調理室で行われ13人が参加しました。最終回の今回は、凍みじゃがいもを粉にしてもちにする方法を教わりました。講師の佐々木チヨ子さん（茶屋場）は「すり鉢の下に濡れタオルを敷き、少しずつ砕くと楽」とアドバイス。でき上がった粉に片栗粉を混ぜて丸め、茹で上がると佐々木さん特性の甘味噌をつけて焼き上げ完成しました。元村トモさん（元木）は「やってみたくて思っていたので参加できてよかった」と、伝統の食文化の体験に満足した様子でした。



講師の佐々木さん④の説明を聞く参加者と完成した凍みじゃがいももち（円内）



講師の駒井所長（円内）と真剣に講演を聞く調査員の皆さん

第50回統計大会開催 調査時の心構え学ぶ

町統計調査員協議会（向川原孝会長）主催の第50回葛巻町統計大会は2月28日、くずま〜るのまき×まきホールで行われ、町統計調査員17人が出席しました。
大会では岩手警察署葛巻駐在所の駒井基男所長が講演を行い、調査時の交通事故防止や家庭を訪問する際の心構えなどを説明。出席者はメモを取りながら真剣な表情で講演に耳を傾けていました。前原文雄さん（五日市）は「個人情報取り扱いや交通事故防止のポイントなどを再確認することができた」と話していました。

葛小生が義援金 使い道など学ぶ

2月29日、葛巻小学校で能登半島地震について考える会が開催され、児童82人が災害について学びました。
はじめに児童たちは、廃品回収の益金と募金を能登半島地震の義援金としてJRC（青少年赤十字）岩手支部の石川健さんに託しました。その後、石川さんが能登半島地震の被害の様子や、募金の使い道などを説明。山谷縞さん（6年）は「一人一人の力が集まると、被災した人の役に立つことが分かりました」と話し、募金の意義について学んだ様子でした。



被災地の様子を伝える石川さん④と義援金を手渡す様子（円内）

婚シェルジュが 結婚支援を学ぶ

2月29日、くずま〜るでくずまき出会いサポート協議会主催の講演会が行われ、婚シェルジュとして活動する7人が参加しました。
講師の田口智之さん（日本結婚支援協会代表理事）が「結婚を取り巻く現状と効果的な結婚支援のありかた」と題して講演を行い、「イベントは人数を増やしすぎても良くない。町外で開催したり、体験型の企画などの工夫を」と助言しました。その後の意見交換では婚活イベントを想定して自己紹介を実践。参加者は、今後の結婚支援のイメージを膨らませていました。



講師の田口さん（円内）と意見交換を行う婚シェルジュ